

プロロジス、茨城県古河市にてセンコー専用物流(BTS型)施設 「プロロジスパーク古河3」の起工式を挙る



プロロジスパーク古河3 完成イメージ

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役社長:山田御酒)は、茨城県古河市において、センコー株式会社(大阪市北区)の専用物流(BTS型)施設「プロロジスパーク古河3」の起工式を執り行いました。

起工式には、センコー株式会社の関係者の方々、古河市 青木善和 副市長をはじめ関係者の方々、設計・施工を担当する株式会社フジタ 代表取締役 金子 賜 副社長をはじめ関係者の方々、プロロジスからは代表取締役社長 山田御酒らが参列し、工事の無事と事業の発展を祈願しました。

センコーはプロロジスのリピートカスタマーであり、関東広域をカバーする新拠点として「プロロジスパーク古河3」を活用する計画です。このたびの開発により、プロロジスが BTS 型施設の集積地として開発を進めてきた「プロロジスパーク古河」プロジェクトが完結します。「プロロジスパーク古河3」の西隣「プロロジスパーク古河1」は医薬品卸のスズケングループの BTS 型施設として、東隣「プロロジスパーク古河2」は日立物流ファインネクスト株式会社の BTS 型施設として、いずれも稼働中です。

■ 開発地

開発地は、茨城県と都心部とをつなぐ新4号国道から至近に位置し、圏央道「五霞 IC」からは約6km(約10分)の北利根工業団地内に位置しています。

本年2月に圏央道「境古河 IC」～「つくば中央 IC」間が開通したことにより、都心部から放射状にのびる東名・中央・関越・東北・常磐・東関東の6つの自動車道とつながりました。これにより、関東全域のみならず、東北方面や関西方面への広域配送が可能となり、東日本における広域拠点として期待されるエリアです。

■ 施設計画概要

「プロロジスパーク古河3」は、約35,000㎡の敷地に地上2階建ての物流施設と、併設する平屋建ての危険物倉庫2棟として開発されます。施設西側および東面の一部にトラックバースを配置し、荷捌きの効率化を図ります。敷地内には、乗用車駐車場・トラック待機場を十分に確保し、車輛が周回できる計画となっています。施設内はLED照明と昼光センサーを採用し、エネルギー消費の軽減を図ります。

「プロロジスパーク古河 3」計画概要

名 称	プロロジスパーク古河 3
開 発 地	茨城県古河市北利根
敷 地 面 積	34,916.92 m ² (約 10,562.35 坪)
計 画 延 床 面 積	合計 31,255.64 m ² (約 9,454.81 坪)
構 造	地上 2 階建て(危険物倉庫 2 棟は平屋)、鉄骨造
着 工	2017 年 7 月
竣 工 予 定	2018 年 7 月

■ プロロジスの専用物流(BTS 型)施設

プロロジスは、これまでに「プロロジスパーク古河 3」を含め、全国に 35 棟の BTS 型施設を開発してきました。また、「プロロジスパーク海老名 2」「プロロジスパーク神戸 3」「プロロジスパーク神戸 4」の開発を計画中であり、入居企業を募集しています。プロロジスは、今後もお客様の物流効率化のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室 担当:古川
TEL:03-6860-9107 / FAX:03-6860-9020
E-mail:sfurukawa @prologis.co.jp